和書門
類 二四八九九 號
一〇六 函
四 架
一五 冊

内閣文庫
和書
類 二四八九九 號
一五 冊
二一〇 函
二〇 架

内閣文庫
番號 和 24899
冊數 15 (9)
函號 210 121

国立公文書館
National Archives of Japan

宇治拾遺物語巻第九目録

一 清水寺乃則粥を施事
二 資志和尚歌乃事
三 越前の敦賀女房尼出家事
四 ものうまを乞う佛供ある事
五 つねはさう飾ふ佛くなる乃事
六 歌くよみ兄弟被免罪事
七 大安寺別当女に嫁を男愛見事

浅草文庫

㊇ 傳打聞入乃事

一 むかし陽成院位りておはしましける時、
宣旨にて殿上の人、奥へも
いふこともなりよりとも、
きてもてあつかひて、
さくなんいも神ら通ざるもの
どもあるもくまれど
見ぬどきまぢに出ぬ
ものうよ志ら
し紀者志ものいよく
て見れば、年ハ七八
あとがら出ぬ

[illegible]ものとおもひ[illegible]ふまひにてあるべきなりとも
[illegible]ばかりにて人をもあつかひてて
あまたまでありくなりさてはのりのりかたもしらぬ
くるまにのりてあるいてあるこしかたる親兄弟
をとうしろめたくおもひたるそんまいとかなしきなれどこの
人のまうすとおなじやうにそんあとかれそとと
思ひくらしてかくまでにあるまじきことをもかたるぶ
にあるべきをてまとりいそんうちくうれ
ものと覚えをれなく出月十日はあまりこの夜もあまりこの一
うちねだるとき男も女もかうかうでいたもかぶ
うとあるいあるきあるをだにぬぎて女のうちとろへへり

[illegible]ものとおもひたるにおれどもおれどもおれどもにてきたく
かうにあるとあるうは入れば男はまへのりのいたりまれい
きづらとて見るに物あるいはどろきあるいはてよろくく
ゆるくまどもあるどもの乃のいたりはくはあるうりてきべてあ
とかこれしいたりはどもあるきておのの女のめでまをかくも
ものもくられねどの男きづるてあるいみるくるくに安とて
あるかるあるてまをれどいもくるくもどおがくてなん
らあるきてもどの移あへうちてきづるにさらにあるあさ
まくあるとてちあくにたりは命出はくしべくかくあと
はいもくるくまるにめでまをとはいたりあるもあるもを行くわたる
あるのこいへまでいくまるべくこの男いあまをいたるべあ

つまくくまたくあさ海しぎてとの乃男ゝで地これゝでおまを
をさるおめるとゝとゝくくまくゝこと男をとゝくくゝ
ゝ法ゝ道をまくくゝあるとてゝおきぬゝ法あふゝくく
またゝくぬゝ者ゝ地をてゝ知りてゝ者りゝおゝくゝ乃ゝゝくゝ七八人
まで御ゝ示ゝ法ゝ御るゝよゝあれゝゝをゝゝきゝよゝを無ゝおゝくする
なゝどゝゝよゝ和をゝもゝあをゝぬまゝで道則ゝゝゝ御ゝくゝまれゝよ
あゝゝゝ

つれ者ども、さて奥州へ出でて金うをとりて、ふるさとへ帰る。
乃ち、一郡司、はるばるとゆきて、なぶるとぬきて、郡司に金を
[illegible]の、[illegible]ども、かかるこころ、郡司、ふるさとへ、おれい
いろふ物がりて、かるこころ、[illegible]ぶるといれ、[illegible]ぶるこ
ろもていて、あるう、かくこと、[illegible]い、事、あれども、
じんこ、[illegible]ていしこと、あ、[illegible]ぶ事、[illegible]
こいろ、[illegible]事、[illegible]ぶ、郡司、[illegible]
[illegible]ども、[illegible]ぶ、[illegible]ぶ、[illegible]
[illegible]ぶ、[illegible]ぶ、[illegible]ぶ、[illegible]
[illegible]ぶ、[illegible]ぶ、[illegible]ぶ、[illegible]
年、[illegible]ぶ、[illegible]ぶ、[illegible]ぶ、郡司、
[illegible]ぶ、[illegible]ぶ、[illegible]ぶ、[illegible]

あ、[illegible]ぶ、[illegible]ぶ、郡司に、[illegible]ぶ、[illegible]
[illegible]ぶ、[illegible]ぶ

ぜ罷あり祇園ぜんぜもさすてさせまるとう乃郷国て
ゐたへいりぬゝ乃河上るとあぐるまん抽ぜいくよもく
罷りてもあまきあるうてもあまきいぐけといれてくゆきぬ。
ちぐーだるもありて水と乃ちもあり風ふくもち
くあり水さゐるふちぐーあるて川上るりあり二つぜ
だるとあるる天乃月てがれまる城入きる御うて世風
ぜまてく御まなぬり者るる御うてこて乃ちてえ紀乃御う
りてて入ゆるぜんえん抽をいぐきをといはつまぐもさんうれ、
れうるーくてまを乃中うあぬぐーありて那国ぜ
きりていうるとる行川乃御とはれぐかくわぐーつれ
ぐーるくぬありとはれーくちわりきまと乃れて

ぐ。ちぐ乃事ハあてあるる行もぐとはくく今一度ぜうんと
はくく又ゆりぬるぐーぐるりありて御とぐりゐる
御乃ちてのぐてきて石ぜ城ちくくとるぐきは火きう
くとい川毛ぜはくくあて者ぐーあるくわぐ
るーきれども是をとさんとゆりれきりてくーつとりて
いぐきてまれで御本乃ちを天ぐりあるるぐぜちぬ
きくりやりき事限るーぐめぜもわ御抽て
てあるきれるぐうぐるりぐるもきんとおりはわぐに
那国ぜくりぬゆくりぬるくくぐあるくくとはれぐ
を乃ちーるる行事ハあるるあるーれ御をありぬぐて
と事ぜくるる風き抽ぜきれはなるもきはいあるーあありれ

うまれたるを一人へひとりとて
はかりきまりかぎりあり大門よりつとて
ふたりとも出ることなれば大みよりて
ふたりとせたきく業者をとりこまれる
基盤乃うえりはかぐらの次第
ぬきこもりて思ひ乃うちよりて
恨乃うえうとなる成せ
むしりを絞ちりは寶志和尚といふ屋ありいみじく
ふるさくおそれたれ門の住れ楽と新はかきで
めんこて絵師と人をとりて一人してあること
ゆるをとりあるとうてこ人をくあるはもべきよ

一絵師くれらまとくたりこ世行よこ人乃絵師屋れをと
へさるとてあく寶旨と高ちくはりでをふりをれで
もぐ〜こつれく清服乃惜表東をくお会行人ふ城こ人の
絵師をあく〜ひこ一人絹をもるぞて。こ人あれく業をを
をこうんとすあ屋をくこ乃新ありうれと
乃くあをこ清をべ〜とあると生む。絵師右衛
あ清して屋乃清新をこれ乃飛して乃
皮をとこ〜きとて皮紙右ちへ引乃をてあるより金
色乃菩薩乃ふをとこ出るこ人の絵師八十一面
現者と乃ふ一人乃絵師い屋敷者とおみをりける。
を乃くふ。海にて清こ世をまりてをもちてさり

さてつぼをもれば、門ぜんに、ぜんぜんとぞ、
ぜんのおいきぬ、ぬるまでうゐ、ぜんぜんとぞ、
さてこれをさうもとりあつかひけり
さてこれをもちて、おのれ、ぜんぜんとぞ、
ぜんぜんとぞ、ぜんぜんとぞ

アロ寺なるなどに養ひ人ふ屋うちうろれ堂より老
せる僧乃まくらうらいとかまれで男あそんとも
くすいよ屋うせられであそうあにきろうんもるれ
がいそんよまくういくあるべきあうとの話とんくさあぬ
ま乃佛のたもを行べきるかりとおうて出うちあて
きうるとてあくくやてあを寺のくうれ人と行てう
ちたれあどしてかうあ大きうよ法とりきるとれへ
親うをてう乃ちいもん法ぎあるへのしき事あまれと屋
ぐうるとおかきあうまれでうに入りでなうちまるま
うへきしうるぜうよあうるまやあふなどにうう乃自れ久ふ
よありてるう乃あ一ぜとぐしてあまさへくふのへと

をう乃うきれどするぜうれで猿人乃屋どかるありまを
もそんなうよかるうしうへくそれ入をてもにうるまりかを
ぬうしいうれぜやれど猫ひべきあるでもあて流ま
すもを寺かるうれとうれあれ寺うう乃ぐきてそれで
あうしいう三寺ぐるとかるぜをうを乃ひと猫うをあるうを
部ふ二三十人ぐるとあうトまあどるぐうそて七八十
人ぐりあうんそて天ゆるまをゆる升るに遊をうを人と
そうせぐやとをへうをもをづうとくいうるりぜよ
遊ぜうらんをくぜりうきぬくをきて暮れうつてなぬ
うぐゆくなどうよ日を寄ぬまづを猫うふをみしぬく猫乃
あきうやあんうそをうる猫あくえをせて寺ーとれ

りんかるるなどは後うちあをてゑの板人のあをくれりて
ひおそくさもしくよりあをせ仕人はりさんとゝへどあるよ事にゝ俗
らんさていざるとりさもあをれをとを
いるときてゝ流ゝくゝ
をくゝ養ゝ人ゝもとも
をあゝ法ゝ乃男ゝ義法ゝ猛將あるさりゝ
ゝ親ゝ
ゝかゝぬを乃てあり
ををめりてゝ
ゝかゝ乃あるこあるゝ
ゝ乃ゝ

あるとて行あるとゝりひゝ屋ゝりかゝるなどにゝさゝ
かゝるゝ所をあゝ乃かゝ
かゝるゝゝとゝぎきて
しかゝゝきれて目をゝ
きゝよかゝ近ゝゝん
きゝゝ拍ゝゝゝれきゝ
ゝときれてあさゝ
くゝゝさゝとかゝゝれ
屋ゝとゝゝきゝ
あゝゝべゝゝきれゝ
くゝみ乃日ゝ人ゝ

きれば夜もきせぬ御おやの人だろうまうれの後者ゆ
どうりなるてザ人だろうの人のあるようものくぎまへき
ゆうもあく馬ゝよろこんこんあるうもあるうきれば
いのよせゆーとゆうあるぎ紀きるなどよゆゆゆうの法ゆ
つれきる女乃ひもゆれん乃あるとゆうとはきくきれども
紀つうふうとゆうあるてよ紀おとゆうてことかゆうく
あるとゆうがいきしゆうとゆうきるゆゆゆりをぬよ
紀うゆうあるゆ雑りよかあるんと思くいうゆる人乃きろ
ゆうとゆれをゆうあゆゆゆうや法法ゆーきれぬゆ乱ゆ
乃ろうにてゆうきゆゆゆ人乃ゆきゆ紀ゆうゆゆ法ゆーゆう
ゆゆゆーゆゆゆ

あつまりとつへぐ者ありあるいはまたあるべき人のなかりしかば
らんとゝへどもさてさは思ひ移りてにぐらんとくるしん
人乃拙くもてなすこんもとんもしうてある人
うつまりいくれ法べきなりうをもあ紙人してある也
とゝへどもさていと座上に手まりおりをかりおく
きいりいよ〳〵ちりさちぐ法るてさるべきさはまく
まいくんとて手ちて最いと悪しかりけるまに紙かれ
うをぬ人乃きて手のをきまいくあるとかく
あぐ鈔者れをちれり鄰行おりわと思くはをば紙
まりて会ちまふかとにかしに紙ぐもをさせて紙うけれ
ぐられ拙ぐもるぐかりうと馬乃ちまでちらへち

てきうをいてかりかくうをとかが拙ぐ乃人くし
くきやうりうしぬくくせ酒乃ませてく入きれへ
こきいりは乃乃乃乃いまうてりおもて手るおりと
よかりにあさまくてもべきかく風くいとをかりける
砂紙りくし紙へるおくゝ悦あきまぐ女と
うちれきくゝ乃乃手紙をいぐりおをゝ法もちん
とを紙人ありく世中をくゝさあ人も加たふ
乃うりてすぎ紙法る紙をふく法かりよさりあれ
くいぐりを紙りはおりかりせんをりさへおあれ
よをん人をい法り乃りをき紙をんぐ紙をを人をいくり
ぐりをいとゝへぐいぐ法乃乃乃ゆあうやあんあをかをり

ちよりこのかたなるこもりはたのあるはずをかくして
七八十人ばかりばかりあつまりしかうれはまこと
にて法ちうこの法るを聞うんあれといへどおきてこのかをは
ぞうをもつて北よさ海くくいつくあんとつふかること
あつまりをもそもりいつてあんずるそ
くぬれをしりつられを北くいぬおの人くれゆふこうほと
りてかくれ物まてきこしをもかりあるし
まり北まりていかゆ説者式会しをるおどにろれ自し
くまぬ又乃日本ありてこの乃あるとれどもをあ
しゆうんむくんかしとゆちをるよさるの対ばらに
北法をまるつきこるやをうの北とさ女物ばをかるし

をこうせこきてやの乃こあるをも北をのをこしの乃男の法
しの入きてかの法こあおりつるをれとれかをしをり暁
八屋りてかこしてりばをこのかどいつあるべを事に
の乱とおをくへども仏乃者ばゆをきれくあをとを
乃ここを乱行しれくををこをもかくもてよをてばいこく
あるを古乃女暁をこんまこを乱ともをを変りてつこ
北こるひめるこばとかしをればをのをれこをんとかを
どもをここを法べをを北あるこの法ここ入事をやあるこく
こを一所をあるををしし乃をこ法ばで一あこ法をを北と
法をこんとかうんこをふれををきこをこしの乃
をこ法をを北こを乃あ法をべをせてをこ法をを

人あるんと思ひて去るとはいふなり。世にもをぬかりしもきあれども、かくまでかうまでもぬべうもつるを、なほかくまでなほ事なれて乃世あるべうもつるを地とあるをつをてうかくまんとはかりへだてうかくまんとはかりへだてうかくまんとはかりへだ

もれどあゝまちびあくまで法師男法師法師とあるし
とかうしたくもつもたくるに事そと思ふよりあくさはれ
か法師をあくに法師男法師るあとのあくさそてんさんに教
まもの法師肩に袈裟かけたるあるいはまたるまの法師
ようあくんとてあるとさはをとへばあの女のかもしれを
うをまできて法師くあるとさはまたはかりてそれは
そくまと思つるもつはるのの法師をのあるうはかりあ
あのでとつれをあくまでとてあをとさてくるをぐとめて
ををねくくはくしよあるとくせはるもつはるとて
あんあるをとかはよがあくてはれ金はにあくの郎
おををはのはるはりのはるいはまはりかく

くさてあるさ法人をて長法へあくはをりうのくらかはれ
かくくてまくくのとりすの事あくてをみをれをてをみ
うの人法くをあくをくくの法るかりもつ猫はくるれ
くの猫をはの法くはるとあるくはりをあるくあるあや
あるをてちかくくをくをくをば猫をせをれどもをにはくる女
かりをうをををくをくをくをくをとはくるくをもあるをを
をくくのはくはくくのをくくのをのをくくあるをの男
女をくれは七八十はあるはくるくくをのくくくくを
人をくくして死のくくれをくくをくくくを
くくくをくくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]ぬりたてをとりてせんとていれまれどもかくれどもかくれどもかく

いきさきをしらでかなしがりあくがれをうちすてゝ
ぞ歩ぬるゝ乃ちは遊ざんやをとゝ稱先ぜはてゝら
乃ぞ法師なりとおもくをぼゆるかゝる思ひあんてあるべきゝ法
師をとゝんとをもひていへるよのあり物命にまさる物なしとい
へる物乃をしらぬぐるまぐるまかくもとゝあり蓮法師
うに物乃をもうしへたりしへたりをきてせ先をもれぐ法師
をかくして遊しをりおくてもゝをもかくこれをを家
を造をるをもるいそて供養しをるんれといへて
ぐ法乃事をやをもるへくゝとゝぬをあつまりおくむもを
をかのゝ紀日をもて佛供養しをるんをもてをもも
をゝをもをるへゝをもをもて謝師乃おへり

あつゝへを法師どをくゝ皆にをりて講師ゝをべをれぐをれに
をりおをもて入ををを乃法師ゝいそむをいくを出力をを物をを力
をるをををいをゝ行ををとゝへぐいそむをいくを法ぐをいを
法をんをを乃法をををををををををををれぐ講師ををれ
ををををををををををを

供養をこなうべき物なりとていれまれたること
ありてそなたの座よりのぼりつまぬ者せんものどもかりと
こなう僧侶のよ入こなをれたるべきくへもしるべうあり乃
法師をさそうくとかきり縁をさてこなうてそなた座
よりとりて物をそんとをよぶ法師よりもなくいの
御こなを後をとりていらでくいたる物をあるとを
あぐくせれをさかせんじるあり法をきつりへとあり
せをもてはまるをはいんをあり世べはあんとをも
しかぐうくもてさせじてをもてをもていぬをば
ぎをあるをしやかをぐに馬をとりいでをあるる
をりをはをいをとをて引をていぬをと

ゆるをてこうまをばをもをせをもいえさせんすんとをかりをに
をこをは法よ行ををりかくんをてをををてさをかりて世をへとをに
をれをををよをををををををををををををををををををををををををををををを
所をををかをををををれをををををををををををををををををををををををを
んをををををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををを
てんやをくをあるををくん
むりをををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををを
ゆををををををををををををををををををををををををををををををををを

きんとすと雖ども法はまさうなく高かるよりの
くんさけりとの〳〵ものる法なりとおもふとすることを
ぜんさ行といふもあれども仏供養〳〵きんとて志ぬもと
よかりつゝ法の中なる法なりこの命おさもりの乃ち
ふかりまつ人響百膳ぐるもぜ法なるあもちこと
れ法まつ人のれまつ法はつ祈まさ為てぐ〳〵てまつるべ
くさあ〳〵ふかるといへぐ仏供養〳〵きまつ人そうのぐ
かくやとする力中れをめも仏力と為うしまてまつんと
くかの祈くを又自まるとかふ法おとぐ法まてまて法るぐ
昨日一昨日いとりがるまくまに黒陳私乃ものどもよ
びあ法めくさあ〳〵れ法ふといへぐかのつるとつる

ふれといひくあまれまつ命ぬかるといへく為ふ
あをぬまぐバ法〳〵とまちりふかなどにつねまさぐき
よくかりされめるとと常ふかなどにつ〳〵られまつせよ
いふさまぐバとふふまるまれまれどまめくふきよ
まるとまる拙ぐもまてき法くもかりさかるれ乃まう
とてあ〳〵くもあるぬ響一二せんぐるまま人法雑色女と
もれまさ〳〵にいふまつぐ〳〵てかくもて法う祷師乃
れ仏をとてこくかいまるまれまま人あり祷師まこの
くかれかふ人まいくまま法僧をまんまつけるあり
まるまかくて拙ふれ酒乃ふれどまふかどにとう祷師
法まさ〳〵れんぐふ僧れてふ為うへあれ乃祷師をいふ

行きそそもうの佛をくやうをんずるぞとて、をうをを
さを法をくやうしをそさ法をしたるに、
をのをくをしあまをうまをたるうを法をく說法
法もせずやとこへば法師稱をきさるてさるをとあの
をてゆさ行やいとこへばをの乃ををくをうしを
らんとするをのをあるべしをををもかくかをせくをを
ふををあるれををを

きうのあるしびとくなるをこれに代備て佛師のもとへいさて
はとゝいふものさゆきう佛やたうをうきるとゝへば法ゝ
をもつとくゆうとゝいふいくかゝら造へてさたりきるで
ゝくへでゐ以はきうゝてまつまとゝいふさてゝれを
あるよ仏を作りまつるゝとゝへでゐまきうはさまと
ゝくゆゝとくいうにまつさゆきまゝとゝいふ仏師きゝ法を
きまゝ法ゝんゝとゝへでゝ仏師ゝいゝゝきうはくん仏し
乃きるやうゝをいまゝずゝとゝへゝさはくゆうきゝへきうゝ
ゝへで彫師乃法房ゝてきゝせたゝんとゝいふてゝいた
ゝてあたまゝとてゝきゝせたゝんとゝいふてゝいた
ゝゝ拍乃房ゝゝいもきゝせたゝさりきゝとゝてきゝゝ

あゝいうゝるまゝゝとてきゝたゝあゝとゝさゝやうきゝて佛
たゝうゝきゝとゝいへゝさゝゝきゝゝゝうゝて斜れ彩の
冠をけゝきゝゝるゝ拍ゝゝゝうゝ拍ゝんゝて供養
ゝきゝん彫師きゝくゝゝ仏ゝゝゝきゝ名ゝつを
ゝゝてゝまゝるゝゝゝきゝゝゝ

[illegible]れば一度はあるべきことなれば
[illegible]
[illegible]
[illegible]

今くしむり。なをまた乃去安さ丸別為あり。きる僧乃女の
を。ま丸。丸人あり。ま。ふ人の去乃。べ。ぐ。ふ。ふ。ふ

[illegible]

女房[illegible]

[illegible]

あるべき乃ちとのかみとしての舞人なんとれ行と
いれまれて出者ともあるべくむとにてそんとて日数
らして殺てくるとうれしよりて惜来ぬと人々
かりて月をあつまれどもあるべくにてそれ
してたつ　ものもあ清ものとてあり来れば人々く
ばかりくるかりくいかもぶさてしかくいかるる書ぬ見
きるどよりぬいぐせんと思めがしてくちこ人
出者乃あれ天井りよれぶりておりて稲くるうへの天井
ちれ乱しくとぬこあるしていら先ちく花ら弾しをひるて
あうてあ先乃ちこのかいようとちぶ出乃ちちれもれ
ちもいられるすぐと殺てまどの舞いちくかぶて

ものの絶ぬ世乃人天の出るれかようとかとまけ
いかれるまきあるんとかよどあるべくいれれい
いかるいくへはるぐしいたし所ちもあべいくへ法るあり
といあ鬼乃いの所ちこ乃ものひ出先ものちる殺しく
こ年にありぬ乱殺海いられかれしくかくいかるかで
といのさるれまきもあるべかよれは法るあり年べは
出ちけいへといくべ鬼いとくあくれたとあり二ものし
くくいん海余とかちいとるまのあ殺とて舞いで
いかぬへまといかはまくと出先ものれ法ちち
ぞいの乃ちぞるかちもとし年べかちちを乃殺へといく
べくとくへのものとくいかは鬼ちくべかくいかる

内閣文庫

聖武をうゝへてあゝくとゝのへくまうつぶ鬼へあるゝ
びつゝりぬゝそゝわいらぐあうまゝくまん是て指燭をはして
人くゝうれぐ用ゝれ和ゝ法師ゝはゝくゝ高ゝ行ゝ等
いゝ四郎ゝくゝ音ゝ命ゝとゝ抜ゝゝ中へうゝとゝきれゝくゝ法ゝかゝちゝて
世付にあゝゝていゝあゝみゝちゝんゝかゝちゝぐゝゝと法ゝるゝゝ和ゝゝり
わゝわゝ後ゝ一ゝゝゝび見ゝゝ主ゝゝて大ゝゝくゝゝかゝゝう後ゝ一ゝゝきゝゝゝる
ゝゝやゝう世ゝゝ主ゝゝ主ゝゝ世ゝゝ世ゝゝ世

国立公文書館
National Archives of Japan